

国立市教育委員会指定 コミュニティ・スクール

国立市立国立第三中学校

令和8年3月11日

第6号

学校運営協議会だより

学校運営協議会

令和7年度 第6回運営協議会を開催しましたので、議事の概要を報告します。

開催日時：令和8年3月11日（水） 15：30～18：30
会場：国立第三中学校 第一会議室
出席者：堀江馨（会長）、近藤陽子（副会長）、山口茂（校長）
野中英美（地域学校協働活動推進員）、内藤薫、加藤祥子
菊田愛恵、伊藤礼子

司会：堀江馨（会長） 記録：武内陽子（副校長）

《協議内容》

- ・3学期の教育活動及び最終評価について
- ・地域学校協働活動推進員からの報告
- ・令和8年度教育課程について

《主な意見》

- ・三中の教育活動は多くの取組が行われており、生徒が充実した学校生活を送ることができている点が素晴らしいとの意見があり、今後も子どもたちのために取組を続けてほしいとの声がありました。
- ・三中カフェは多くの生徒が利用しており、生徒どうしや地域の方との交流の場となっていることが評価されました。一方で、物価高騰の影響もあるため、今後の運営について工夫していく必要があるとの意見がありました。
- ・職場体験学習については、生徒や保護者から「良い経験になった」「楽しかった」という声が多く聞かれ、働くことへの理解を深める貴重な機会になっているとの意見がありました。
- ・生徒会活動や学校行事などにおいて、生徒の意見を大切にしながら学校生活の改善を図っている取組は、生徒の主体性を育てる点で意義があるとの意見がありました。
- ・「プレ・スクール・デイ」の取組は、生徒が長期休み明けでも学校に登校しやすくなる工夫として評価されました。
- ・「人権教育だより」はカラーで見やすく、生徒の気持ちに寄り添った内容となっており良い取組であるとの意見がありました。
- ・学習総合発表会でのSDGs発表は、社会とつながる学習であり、生徒の理解を深める有意義な取組であるとの意見がありました。
- ・学習や行事の発表を通して、生徒の成長や学びの成果を感じることができたとの意見がありました。
- ・社会の変化に伴い進路の選択肢や価値観も多様化していることから、生徒一人一人に応じた進路指導の充実が求められているとの声がありました。
- ・学校運営協議会では、今後も学校の取組について理解を深めながら、学校・地域が連携して子どもたちの成長を支えていくことが大切であるとの意見がありました。

第6回学校運営協議会は、令和8年度 教育課程等について承認しました。

令和8年度第1回の学校運営協議会は、令和8年4月9日(木)15時30分より国立第三中学校で開催します。